

おわりに

平成26年度の活動報告と今回3年振りに実施しましたアンケート結果をここに報告いたします。

念願の小白川キャンパス保育所が実現し、今年度からスタートした保育の様子を報告できることは大きな喜びです。また、本年度新たな調査項目を加えて全教職員・大学院生を対象としたアンケート調査を実施しました。

平成20年に、山形大学男女共同参画推進準備室の設置を契機に第1回のアンケート調査を行ってから平成23年まで、計4回の調査を行ってきました。今回、「山形大学男女共同参画基本計画」（平成22年策定）に基づき、10年計画の中間評価に向けて第5回の調査を実施いたしました。本報告書では、今回の調査結果とこれまでの計4回の調査を合わせて経年変化も掲載しております。

今回は、教職員の中から介護について心配する声も上がっていたことから、実態を把握すべく、従来の子育て調査に代えて介護調査を実施いたしました。その結果、子育てと共通する部分が多くある中で、介護に特徴的にあらわれている点も見えて参りました。例えば現在、介護を必要とする家族がいないという人でも不安を感じている人が多いこと、介護の不安や担い手に男女差がほとんどないこと等でした。

また今回、女性教員比率の向上に向けたポジティブ・アクション（積極的是正措置）についての意識調査も加え、結果をまとめました。その他、貴重な意見を多々いただき、そのほぼ全てを掲載しております。

8ページにわたる長い調査票に対してご協力を頂いた多くの方々に感謝を申し上げます。アンケートの不備や厳しいコメントもご指摘頂き、今後の改善に生かして参ります。このような全教職員・大学院生を対象として継続的な調査を行っている大学・機関は少なく、様々な限界はありつつも、貴重なデータになると考えています。本調査報告が、山形大学だけでなく他大学・機関をはじめ男女共同参画やワークライフバランスの実現を願う全ての方々の一助となることを願っています。

今回、活動報告とアンケート結果報告を合冊といたしました。その結果、2月19日に開催しました男女共同参画国際シンポジウム等の内容を詳細にお伝えすることができませんでした。ホームページやニュースレター等でお知らせして参りますので、これらも合わせてご覧下さいますようよろしくお願いいたします。

男女共同参画推進室チーフコーディネーター 木村 松子